



学校だより

錦城の詩

平成24年(2012年)

6月11日(第5号)

明石市立錦城中学校

トライやる・ウィーク&わくわくオーケストラ終わる!

校長 荒井 拓

梅雨入りとなりました。体調を崩しがちな季節。どうぞ、お身体を大切にしてください。

さて、見出しのとおり、兵庫県が全国に誇る体験学習。2年生の「トライやる・ウィーク」と1年生の「わくわくオーケストラ」が先週、大きな成果をあげて終了しました。特に、トライやるについては、1週間という長い時間、明石市の中学2年生が街に飛び出す一大事業であります。15年目を迎えていますので、きっと保護者の方や地域の方もよくご存知でしょうし、多くの子どもたちを街中で見かけられたことと思います。我、錦中2年生の諸君も、30か所の事業所に分かれて貴重な体験をさせていただきました。学校の勉強や部活など様々な活動で鍛えた知力・気力・体力を実社会で試す武者修行となったことでしょう。私も、ちょっと覗いてきました。時間の都合で、12か所ほどしか回れませんでした(行けなかった事業所のみなさんごメンナサイ)、緊張感を持ちながらの活動、一生懸命さが伝わってきました。スポーツ店での商品管理、動物病院での手術立会、寿司店での皿洗い、お好み焼き屋での試作、鉄板掃除、喫茶店での盛り付けや街頭販売、アナゴ屋での商品配達、幼稚園や小学校での保育や環境整備などなど。錦城ホームページで2年生の先生方が毎日事業所を回って撮ってきた写真をUPしていますので、どうぞ見てやってください。事業所のみなさんからは、「よくやっていますよ」「なかなか覚えがよくてねえ」「いい子たちですね」とお褒めのことば。お世辞もありとは思いつつも、やっぱり嬉しいし、実際、「いい感じ」で活動できていました。事業所の方も、みなさん、まるでわが子やわが孫のように、手取り足取り、おんぶにだっこ、叱咤激励、かわいい子には旅させろ、といった調子でお世話いただいております。本当に、時間や心をさいてくださりありがとうございました。活動場所をそっと見に行かれた保護者もおられるとのこと。ありがたいことです。事前指導の中で、子どもたちには、失敗をできなさいと言ってあります。自分の失敗を説明できる人になってほしいと言ってあります。ご家庭で、トライやるの話題が弾むとき、失敗談にも花を咲かせていただければと思います。7月に「トライやる発表会」を開きますので、是非お越しください。お待ちしております。

残念ながら体調などの理由から参加できなかった生徒もありました。仕方のないことです。体が一番。しっかり充電して、次回の行事での爆発に期待しています。



1年生の「わくわくオーケストラ」。兵庫県立芸術文化センターという素晴らしいホールでのフルオーケストラ体験(はじめての体験だった人も多かったことでしょう)。たったの1時間だったけれど、音に引き込まれる楽しい体験でした。クラシックが身近になり「良いものだ!」と実感。「ウィリアム・テル序曲」「アルルの女」と、親しみやすい曲に続き、我々世代が学生時代に合唱コンクールの課題曲だった「モルダウ」を丁寧な解説、ダイナミックな指揮で演奏いただきました。引き続いての兵庫県立美術館。ここも素晴らしかったです。丁度、コレクション展「美術を見る8つのポイント」が開催されており、テーマを持った観賞ができました。小磯良平の「斉唱」の謎など興味深い事も知りました。子どもたちの観賞態度も素晴らしく、美術館の担当の方も「これだけ熱心に見てくれる学校は珍しいです。感激しました」と最高の評価をしてくれました。本当に、芸術を体感できる充実した1日となりました。学校での様々な学習があつてこそ、身の回りにあふれている素晴らしい音楽や絵画、文学や自然の美しさに敏感に気づける人になれるのだと思います。68回生も、たった2ヶ月の間に錦中生の良き伝統を継承できる力を確実につけてくれています。この先、どんな新しい伝統を創ってくれるのか、今から楽しみです。

